

## 民主党港湾振興議員連盟 設立趣意書

我が国において、人口減少、少子高齢化の進展、財政状況の逼迫により、社会資本整備が抑制的にならざるを得ない中で、国際競争力の強化を早期に実現し、また、地域の活性化、安全・安心な暮らしの確保、地球環境問題への対応等を図るためには、港湾の選択と集中を進めることが必要不可欠である。

特に、国際競争力の強化にあたっては、国際物流について、釜山、シンガポールや香港などのアジア地域の港湾が物流のハブとしての地位を高めていることに鑑み、日本の港湾の国際競争力回復に努めることが喫緊の課題となっている。また、国内物流についても、海外から日本に到着したモノ、そして日本から海外へと出て行くモノの流れを円滑にすることと、生産地ならびに消費地の活性化及び雇用の確保、ひいては日本の魅力を向上することに重点を置くことが求められている。

このため、物流面での玄関口としての港湾に関して、選択と集中の考え方のもとで、港湾・海岸防災等に関する政策の調査研究を推進することにより、具体的な施策の実現を提案し進めていく認識を共有するとともに、港湾・海岸防災事業等を通じて、我が国港湾・海岸の振興と発展に貢献することを目的として、民主党港湾振興議員連盟を設立するものである。

平成 22 年 3 月

設立発起人代表 参議院議員  
衆議院議員

西岡武夫  
細野豪志